

## 公立大学法人大阪旅費管理システム構築及び運用保守業務等委託契約に係る総合評価 一般競争入札（郵便方式）入札心得

### （目的）

第1条 この心得は、公立大学法人大阪（以下「法人」という。）が行う郵便方式で実施する公立大学法人大阪旅費管理システム構築及び運用保守業務等委託契約に係る総合評価一般競争入札に参加しようとする者（以下「郵便入札参加者」という。）が守らなければならない事項を定めるものとする。

### （法令等の遵守）

第2条 郵便入札参加者は、法人が定める規程及びその他の法令並びに入札説明書、契約書案の各条項、この心得、入札説明事項等を遵守しなければならない。

- 2 郵便入札参加者は、不穏当な言動等により正常な入札の執行を妨げたり、他の郵便入札参加者の迷惑になるようなことを行ってはならない。
- 3 郵便入札参加者は、仕様書その他契約締結に必要な条件を熟知の上、入札しなければならない。

### （公正な入札の確保）

第2条の2 郵便入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律等に抵触する行為を行ってはならない。

- 2 郵便入札参加者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の郵便入札参加者と入札書に記載された金額（以下「入札価格」という。）又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければならない。
- 3 郵便入札参加者は、落札者の決定前に、他の郵便入札参加者に対して入札価格を意図的に開示してはならない。

### （入札）

第3条 郵便入札参加者は、入札公告に示す所定の入札書に記名押印の上、「一般書留」又は「簡易書留」のどちらかによる方法で、入札公告に示す入札書提出期限までに指定された提出先に到達するように提出しなければならない。指定された日時までに到達しない入札書は、無効扱いとする。なお、入札書等は、法人への直接持参は認めない。

- 2 入札書は、案件名称及び郵便入札参加者名（商号又は名称）を記載した入札用封筒に入れて封かんし、さらに対象案件ごとに案件名称及び郵便入札参加者名（商号又は名称）を記載した郵送用封筒に入れて、前項で規定するとおり提出すること。封筒の記入方法等は、別紙「郵便入札用封筒について」のとおりとする。
- 3 郵送等に係る費用については、入札の結果にかかわらず郵便入札参加者の負担とする。
- 4 郵便入札参加者は、入札書を提出するときは、入札公告等において提出を求められた

必要書類を併せて提出しなければならない。

- 5 郵便入札参加者が相連合し、又は不穏の挙動をする等の場合で、競争入札を公正に執行することができない状態にあると入札執行担当職員が認めたときは、当該入札を延期又は中止し、当該入札に関して調査を行うことがある。
- 6 入札の執行に際して、天災地変等により郵便不着又は遅延が発生したとき、その他やむを得ない理由があると認められるときは、その執行を延期し、又は取りやめることがある。
- 7 郵便入札参加者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額から消費税及び地方消費税に相当する金額を除いた金額を入札書に記載すること。

#### (提案書等)

第3条の2 郵便入札参加者は、提案書等を入札公告に示す方法にて提出期限までに指定された提出先に到着するように提出しなければならない。指定された日時までに到達しない提案書等は、提出がなかったものとみなす。なお、提案書等は、法人への直接持参は認めない。

#### (入札書の書換等の禁止)

第4条 郵便入札参加者は、その提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。

#### (開札)

第5条 指定期日までに郵送された入札書の開札は、入札公告において示した日時及び場所において行うものとする。

- 2 開札の執行をビデオカメラで録画し、開札は入札執行担当職員及び1名以上の入札担当職員で行い、郵送された郵送用封筒及び入札書等在中の入札用封筒を開封し、開札結果を発表する。
- 3 提案書等の提出部数の確認は、開札と同時に行うものとする。

#### (開札の傍聴)

第5条の2 開札を傍聴しようとする郵便入札参加者は、入札公告に示す期間内に開札の傍聴にかかる申請（以下、「開札傍聴申請」という。）をすることにより、傍聴の許可を得るものとする。傍聴の許可を得ていない者は傍聴することができない。

- 2 傍聴は郵便入札参加者1者につき1名まで認めるものとする。
- 3 開札傍聴申請は、入札公告に示す方法により受付するものとし、それ以外によることは認めない。なお、受付は先着順とし、入札公告に示す定員になり次第締め切るものとする。
- 4 傍聴の許可を得た者（以下「傍聴者」という。）は、開札時刻10分前までに開札場所

に集合しなければならない。開札時刻 10 分前を過ぎた場合は、傍聴の許可を取り消し、開札場所に入場させないものとする。

- 5 傍聴者の身分を確認するため、開札場所に集合した傍聴者に、社員証等入札参加業者の役員又は従業員であることを証明できるものを提示させるものとする。
- 6 傍聴者が当該案件に応札していない場合は、傍聴の許可を取り消し、開札場所に入場させないものとする。
- 7 傍聴者は、入札執行者の指示に従わなければならない。また、次の禁止事項を遵守しなければならない。
  - (1) 私語、談笑等
  - (2) 携帯電話、スマートフォン、パソコン、タブレット等通信機器の使用
  - (3) 録音・撮影行為
  - (4) 拍手、歓声等により騒ぎ立てること
  - (5) みだりに歩き回る等の不体裁な行為
  - (6) 職員の指示に従わないこと
  - (7) その他、入札事務の妨げとなる行為
- 8 傍聴者が前項の規定に違反するときは、これを制し、かつ、その指示に従わないときは、これを退場させるものとする。
- 9 入室後、途中退出した者の再入場は一切認めない。

#### (入札の辞退)

- 第 6 条 郵便入札参加者は、開札までに入札辞退届を提出することにより、入札を辞退することができる。入札を辞退するときは、入札辞退届を持参又は郵送にて、入札公告に示す提出先に到着するように提出するものとする。ただし、一旦、辞退した場合は、それを撤回し、又は当該入札に再度参加することができない。
- 2 開札日時を過ぎても入札書を提出しない場合は、当該入札参加者が入札を辞退したものとみなす。
  - 3 入札を辞退した者は、これを理由として不利益な取扱いを受けるものではない。

#### (無効の入札)

第 7 条 次の各号のいずれかに該当する入札は、無効とする。

- (1) 指定の日時及び場所に提出しない入札
- (2) 入札書に記名（所在地、商号又は名称及び代表者氏名）及び押印を欠く入札
- (3) 訂正印なく金額を訂正した入札又は金額の記載の不鮮明な入札
- (4) 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
- (5) 談合その他の不正行為を行ったと認められる入札
- (6) 同一の入札について、1つの入札用封筒に2通以上の入札書を同封した入札
- (7) 同一の入札について、複数の入札案件の入札書等を同封した入札
- (8) 同一の入札について、2通以上の郵送用封筒が到達した者の入札

- (9) 郵送用封筒及び入札用封筒に当該案件名称及び郵便入札参加者名が記載されていない入札等、意思表示が不明瞭である入札
- (10) 入札用封筒の案件名称及び郵便入札参加者名と同封された入札書等の案件名称及び郵便入札参加者名が相違する入札
- (11) 郵送用封筒及び入札用封筒が封かんされていない入札
- (12) 入札公告に示す入札書提出期限を超過して提出された入札
- (13) 第3条に規定する方法以外により提出された入札
- (14) 開札後から落札決定までの期間において、次のアからエまでのいずれかに該当した者の入札
  - ア 入札参加資格の要件を満たさなくなった者
  - イ 公立大学法人大阪入札参加停止要綱に基づく停止措置を受けている者
  - ウ 公立大学法人大阪暴力団排除措置及び不当介入対応要綱第3条の規定に該当する者
  - エ 公立大学法人大阪契約事務取扱規程第15条第1項に該当する者
- (15) 前各号に掲げるもののほか、指示した条件に違反して入札した者の入札

(入札額等の錯誤)

- 第7条の2 郵便入札参加者は、開札日の前日（土日祝日を除く）の午後5時までに、郵便入札参加者が行った当該入札が明らかに錯誤である場合は、直ちにその旨を申し出ることができる。
- 2 前項の申出を行った者は、直ちに当該入札が錯誤であることについて、弁明書を提出しなければならない。
  - 3 前項の規定により弁明書の提出をした者の当該入札は、無効とする。

(落札者の決定)

第8条 落札者については、別に定める落札者決定基準のとおり決定する。

(くじにより落札者を決定する場合)

- 第9条 落札者決定基準に基づき、くじにより落札者を決定することとなる場合は、別紙「くじの方法」に定めるところにより、落札者を決定するものとする。
- 2 くじにより落札者を決定した場合は、くじ対象入札者名、くじ対象入札者に付与した抽選番号、くじ対象入札者のくじ番号及びその合計額、合計額をくじ対象入札者の数で除した「余り」等を、ホームページにおいて公表する。

(再度の入札)

第10条 再度の入札は行わないものとする。

(契約保証金等)

第 11 条 落札者は、契約を締結するにあたり、契約金額の 100 分の 10 以上の契約保証金を納めなければならない。ただし、公立大学法人大阪契約事務取扱規程第 24 条第 1 項各号のいずれかに該当する場合は、契約保証金は免除する。

(契約書の提出)

第 12 条 契約書を作成する場合において、落札者は、契約書に記名押印し、落札決定の日の翌日から起算して、原則として 10 日以内に契約担当者に速やかに提出しなければならない。ただし、契約担当者の承諾を得た場合は、この期間を変更することができる。

2 落札者が前項に定める期間内に契約書を提出しないときは、落札者としての権利を失う。

3 落札決定の日から契約締結の日までの期間において、落札者が、次のアからウのいずれかに該当した場合は、契約を締結しないことがある。

ア 入札参加資格の要件を満たさなくなった場合

イ 公立大学法人大阪入札参加停止要綱に基づく停止措置を受けている場合

ウ 公立大学法人大阪契約事務取扱規程第 15 条第 1 項に該当する場合

4 落札決定の日から契約締結の日までの期間において、落札者が、公立大学法人大阪暴力団排除措置及び不当介入対応要綱第 3 条の規定に該当した場合は、契約を締結しないものとする。

(誓約書の提出)

第 12 条の 2 落札者は、公立大学法人大阪暴力団排除措置及び不当介入対応要綱第 5 条第 1 項に規定する誓約書を契約締結までに提出するものとする。なお、落札者が誓約書を提出しないときは、落札者としての権利を失う。

(違約金の徴収)

第 13 条 落札者が契約を締結しないときは、落札金額（長期継続契約にあっては、落札金額を 1 年あたりの額に換算した金額）の 100 分の 2 に相当する金額を違約金として徴収する。この場合、法人は一切の責めを負わないものとする。

(異議の申立て)

第 14 条 郵便入札参加者は、入札後において、この心得、契約書案の各条項、仕様書又は入札説明事項について、不明又は錯誤等を理由として異議を申し立てることはできない。

(契約条項を示す場所)

第 15 条 ホームページ上とする。

(その他)

第 16 条 郵便入札参加者は、入札に際しては、すべて入札執行担当職員の指示に従わなければならない。

別 紙

### 郵便入札用封筒について

総合評価一般競争入札（郵便方式）で入札書を郵送する場合、入札案件ごとに入札用封筒（内封筒）・郵送用封筒（外封筒）の二重封筒とし、使用する封筒及び記入方法はつぎのとおりとします。

#### （１）封筒

入札用封筒（内封筒）

郵送用封筒（外封筒）

の二重封筒とする。

※封筒サイズ等の指定はありません。

#### （２）記入項目

入札用封筒（内封筒）・郵送用封筒（外封筒）いずれにも

下記項目を封筒の表面に記入し、「入札書在中」と朱書きしてください。

- ・ 案件名称
- ・ 郵便入札参加者名（商号又は名称）

#### （３）封かん

入札用封筒（内封筒）・郵送用封筒（外封筒）いずれも、最後に必ず封かんしてください。

#### （４）その他

- ・ 当該入札と異なる案件の入札書を同封しないでください。
- ・ 入札書と提案書等は別々に郵送することとしているので、提案書等を郵送する際に入札書を同送（同封）しないでください。

## 別 紙

### くじの方法

郵便方式の総合評価一般競争入札における、くじによる落札者決定方法は、次のとおりとする。

#### 1 入札書の「くじ番号」欄に任意の値を記入

入札者は、くじを行う場合に備えて、入札書の「くじ番号」欄に、入札書提出時にあらかじめ任意の3桁のアラビア数字「000～999」を記入（「0」の桁も必ず記入が必要）しておくものとする。

なお、記入のない場合、「0」の桁の記入がない場合、1文字でも判別できない数字がある場合、訂正しているが訂正印がない場合、不明な記載の場合などは、「書留お問い合わせ番号」（11桁）の下3桁の数字を記載したものとみなす。

#### ※「書留お問い合わせ番号」とは

郵便追跡用に使用する番号で、次の合計11桁で構成され、書留の受領証に「お問い合わせ番号」として表示されているもの。「引受番号」ともいう。

《例》「\*\*\*（3桁）－\*\*（2桁）－\*\*\*\*\*（5桁）－\*（1桁）」

#### 2 くじの手順

- （1）くじ対象入札者に、「書留お問い合わせ番号」（11桁）の下4桁の小さい者から順に、「抽選番号」（0，1，2，3，……）を付与する。なお、下4桁が同一の者がある場合は、下5桁目の数字が小さい者の順とし、下5桁目の数字も同一の場合は下6桁目の数字が小さい者の順とし、下6桁目の数字も同一の場合は、以下同様に高い桁の数字を参照して「抽選番号」を付与する。
- （2）くじ対象入札者の入札書に記載された任意の「くじ番号」を合計し、その合計額をくじ対象入札者の数で除し、「余り」を算出する。
- （3）上記（1）の「抽選番号」と上記（2）の「余り」の数値が一致した者を落札者とする。



《例》くじ対象入札者が4人の場合

(1)「抽選番号」を付与する。

業者名	書留お問い合わせ番号	下4桁	下5桁目	抽選番号を付与
A社	123-45-67890-1	8901	－	1
B社	234-56-78901-2	9012	8	3
C社	345-67-80901-2	9012	0	2
D社	456-78-90123-4	1234	－	0

(2) くじ番号の和を求め、くじ対象入札者の数で除し、余りを算出する。

業者名	くじ番号
A社	0 8 3
B社	9 3 4
C社	2 7 1
D社	0 0 7



$$0\ 8\ 3 + 9\ 3\ 4 + 2\ 7\ 1 + 0\ 0\ 7 = 1\ 2\ 9\ 5$$

$$1\ 2\ 9\ 5 \div 4\ (\text{人}) = \text{商}\ 3\ 2\ 3 \cdots \underline{\underline{\text{余り}\cdots 3}}$$

(3) 落札者の決定

業者名	抽選番号	落札者
A社	1	
B社	3	<b>決定</b>
C社	2	
D社	0	